



週報



国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック
会長 伊東真知子 第2720地区ガバナー
幹事 石橋 春明 三村 彰吾
大分第4Gガバナー補佐
佐藤 憲幸
地区スローガン
宽容な心で、ロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう。



大分城西ロータリークラブ

クラブスローガン「クラブを愛しましょう！ と共に 親睦と奉仕を一」

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	10月 30日					例会日 水曜日 12:30~13:30 例会場 ホテル日航大分オアシスホール ホームページ http://oitajosairc.com	編集担当 11月 中山省悟 12月 石橋春明 1月 衛藤祐介 Eメール oitajosairc@mist.ocn.ne.jp
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター		
	30名	20名	66.67%	6名	0名		
事務局	〒870-0021	大分市府内町トキハ会館4階	TEL 097-532-0611	FAX 097-532-8386	Eメール		

2024-2025

第13回例会

11月13日

◆本日のプログラム（11月13日）

12:30	点鐘
	国歌斉唱「君が代」
	ロータリーソング「奉仕の理想」
	ゲスト・ビジターの紹介 伊東真知子 会長
	会長の時間 伊東真知子 会長
	出席報告及び幹事報告 石橋春明 幹事
	ロータリー情報 R情報担当委員
	委員会報告 各委員会
	スマイルボックス 会員各自
13:00	城西マーケット
	寺崎会員・眞上会員・伊藤会員

◆ゲスト・ビジターの紹介（10月30日）

●ビジター	ナシ
●ゲスト	実山香代子様 ((株)ミヤマ電気代表取締役)
	佐藤良典様 (豊成商事(株)代表取締役社長)
	大平隆史様 ((株)太平酒店代表取締役)

◆バギオ基金寄付（10月30日）

廣瀬舜一会員 (1万円)

去る、10/10 秋田駒ヶ岳1,638mに登ってきました。この山は隠れ百名山の一つで、啄木の故里岩手山の近く（といっても100kmは離れていますが）にあります。全山赤や黄の紅葉に加えて、熊笹の緑のコントラストが見事でさすがは日本一と感動しました。山脈のまほろば宿という農家に泊まって、岩魚をはじめ天然ものの材料での創作料理に仲間と共に舌鼓を打ちました。

◆スマイルボックス（10月30日）

伊東真知子会員 (3口)

本日は、6名のゲストの方にお越し頂きましてありがとうございました。又、先日は誕生日にお花を頂きました。ありがとうございました。3口スマイルします。

◆今週のお祝い（11月13日）

●創立記念日	
木下光一会員	(株)地域科学研究所 S54年11月14日 (45年)
工藤 隆会員	税理士法人大分共同会計 S57年11月18日 (42年)
●配偶者誕生日	
工藤 隆会員	シゲ子夫人 11月18日
芳崎一郎会員	洋子夫人 11月25日
●会員誕生日	
廣瀬舜一会員	11月13日

◆幹事報告（10月30日）

幹事 石橋 春明

・来週11/6（水）は定款第7条第1節に基づき例会取りやめです。

次回の例会は11/13（水）となっておりますので、お間違えのないようお願い致します。

◆会長の時間（10月30日）

会長 伊東 真知子

10月も残すところあとわずかとなりましたが ようやく涼やかな風が心地よい季節となりました。

先週10月20日 日曜日は狭間 時松公民館での例会の後 稲刈りをして 地元のひばり児童館の子供さんたちによる 神楽を見学させていただきました。四季が薄れてきた日本ですが やはり稻穂の輝く棚田を前にして 私もやっと秋を感じることが出来ました。お世話をしてくれた時松地区の皆様 そして佐藤憲幸会員に改めまして 感謝を申し上げます。



さて 本日は6名のゲストの皆様にお越し いただいておりますので少し説明させて頂きますと私は 茶の湯を趣味としておりまして 例会の会長の時間は 曆に沿って歳時記や茶の湯のお話をしております。今日も少しだけ話させてください。

茶の湯では11月が炉開きとなっております。炉開きの話は 来月に入って致しますがその炉開きが茶の湯の正月といわれております。新茶の入った茶壺の口を切り 風炉釜から炉に代わり 茶の湯にとつて一番華やかな時節が来月から始まるのです。現代ではいつでも新しい茶葉が手に入りますが 昔は炉開きで口を切った茶葉を10月のこの時期まで使っていましたので 茶葉も少なく侘しくなってまいります。

炉開き前のこの月の茶の湯は1年で一番侘びたものとなり「名残の茶」と言われています。名残の茶は 秋から冬へ移り変わるその様を慈しみ 楽しむものです。先月話しましたが風炉釜が 客のほうへと近づいて置かれ 肌寒さを感じるようになった茶室で 客人に暖かい炭火の温もりを感じて頂きながら 抹茶を楽しんで頂くのが名残の茶です。茶道具の設えも簡素なものとなり 晩秋を感じるものとなります。それはそれで又 侘びた 趣のあるものです。



又 10月も半ばを過ぎますと 着物も単衣から 裕となっていきます。数年前までは10月に入りますと 裕の着物に衣替えいたしておりましたが 最近の残暑では 25日過ぎたころを衣替えとしてもよいかもしれません。単衣とは 反物1枚で縫製されたもので 裕とは裏地を合わせた着物です。帯や帯揚げ 帯締めもそれに伴って 厚みがあり暖色系のものへと変わっていきます。

四季がはっきりしていました数年前までは このように羽織るものでも 季節を存分に楽しめたものでございます。日本の四季は これからどのように変化していくのでしょうか。茶の湯の決まり事も 少しずつ変わっていくかもしれません。いつまでも 日本の四季を楽しめますようにと 私は願ってやみません。

◆会員増強親睦夜例会

10/30「会員増強親睦夜例会」が6名のゲストをお迎えし開催されました。

親睦会では、映像での活動紹介やクラブ会員の紹介、また今回参加いただいたゲストの紹介など、ゲーム等行なながら楽しい雰囲気の中すすめられ、非常に有意義な時間となりました。

これをきっかけに大分城西ロータリークラブの活動に共感して、一緒に社会貢献や親睦活動に参加いただける新たな仲間が増える事を願います。